

KEN TIMES

2019年 10月号

台風19号、この手紙を受け取っている多くの方に、甚大な被害が出てしまったかと思います。心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興をお祈りいたします。

2019.10.26 河野謙

◆秋は、豊か。ありがたや・・・。



え！？この間田植えしたばかりだよね！？という感じですが、稲刈りの季節に突入してまいりました。妻の家は怒涛の日々です。まだ9ヶ月の娘も見てもらいながら、毎日本当にありがとうございます。

・・・歳をとるにつれて、収穫のありがたみが増してきます。「感謝して食べよう」という気持ちが大きくなってきます。今までそこまで意識せずにお米をいただいていたわけなのですが、妻と結婚して、田んぼの手伝いをやらせてもらってからは、食べるたびに農家の方の苦勞を感じます。飯山の美味しいお米、大地に感謝です！週末には上の子も田んぼに出動するのですが、やはり嬉しいんですよ。「カカ」の実家のみなんで、お天道様の下、汗を流して働く。美味しい新米がとれる。・・・こんな幸せなことってあるのでしょうか？

◆岩魚酒。

四十雀さんのイワナ酒がたまらなく好きなので（・・・担々麺もたまらなく好きなので）。広島から大学時代の友達が妊娠中の奥さまと遊びに来てくれ、「溪流につれて行ってほしい」というリクエストがあったので、行ってきました、赤滝川へ。もちろん奥さまはその間、温泉街でブラブラです。10時ごろ入渓し、粘りに粘ってやっと上の方でカワイイのが一匹釣れました（わざわざ広島から来てくれたので釣ってくれるかヒヤヒヤでした）。いや、友達も最高の笑顔でしたね。奥さまもその時の写真を見て「こんな顔して、少年みたい！」と。嬉しいです。日中は「飯山さわごさ」に行き、夕方から家のガレージでバーベキューを始めました。「岩魚酒」の作り方をグーグルで調べてみると、かなり手の込んだやり方ばかりが出てきましたが・・・ここは簡単に、網で少し焼いてから、それをそのまま鍋に入れて「水尾」の熱燗を作りました。感想・・・旨い！！めっちゃめっちゃ岩魚の味がよく出ていました。アルコールもいっくら飛んでいるので、どんどん、グイグイと飲んでしまいました。地元の川でとれた魚と、地酒をいただく贅沢・・・。楽しかったな～。3泊してもあつという間に終わっちゃうね。裕一朗、彩香さん、次回は子どもも連れてまた来てね～！



◆秋は祭でしょ

5年ほど前から猿田彦の笛を吹いています(飲んでます)。今年は新たに祐也とヒラッチが加わってくれたので、さらに楽しいメンバーで夏からの練習の日々を過ごしました。ほとんどのメンバーが自営業者なので、それぞれ仕事の時間も割いて練習に当てているわけです。が、これだけは確実に言えます。こうやって神事に携わらせていただき、みんなで楽しく過ごしているので、間違いなく運気が上がって、仕事=人生、にもプラスになることしかありません！子どもの頃からずっと見てきた舞。野沢の子もは大人になってからも、ずっと心の何処かに、この舞の存在があるんじゃないかと思えます。何かを観たり、感じたりするときの一つの基準みたいなものとして。言葉では伝わらない、あのかっこ良さやあの緊張感、しっかり伝承していきます。

今年のお疲れさん旅行は11月に近場の松本。…とても楽しみです。



◆はじめての…。



仕事柄、手紙を出す機会が多いのです。子どもの前でも手紙を書いている時間が結構あります。やはり親のやっていることは、なんでもやってみたいんだよね。「ようちゃんも、おてがみかきたい！」と息子。「そうか〜。じゃあ、葉にお手紙書いてみようか。」ということで、息子も自分宛に初めての手紙を書きました。ま〜なんとも楽しそうに書くこと。ペンの色を選んで…スタンプも押しして…。いい時間でした。手紙をもらうのって、その人の「時間」を感じられるから嬉しいのでしょうか。二人で役場のポストへ出しに(こんなに近いのに車で)行き、(ようちゃんにとどきますように。)と、しっかり祈って、届くのを待ちました。役場のポストから帰るとき、息子を車の窓から助手席に乗せると、「ようちゃんも、おてがみかきたい！」と。うん、いいユーモアしてるね〜！翌日、自宅のポストに入ってるかな？と見に行ってみると、

なんと母が先に取ってしまった！慌ててポストに戻し、「葉、届いてるぞ！」と内緒のテイク2。何はともあれ、とっても満足そうにポストの手紙を受け取った息子なのでした。お手紙の喜び、いつまでも忘れずにいてほしいと思います。

【連絡先】 河野謙(こうのけん)

〒389-2502 長野県下高井郡野沢温泉村豊郷9829(横落・Fujiyoshi)

携帯080-1294-5162